

令和3年度流山市青少年社会環境浄化事業

## 南流山地区活動実行委員会活動報告

子どもたちの健全育成と非行防止のために、また地域に住む大人たちが地域の子どもたちをよりよく育てていけるよう、地域や家庭の養育力向上を目指して活動しています。

今回は、子どもたちが生活で利用する店舗について調査しました。お店を利用する様子について、お店の方にアンケートをお願いしたり直接お話を伺って、実行委員が各地区で青少年の店舗利用状況としてまとめを行いました。

南流山地区の今年度の結果をご紹介します。

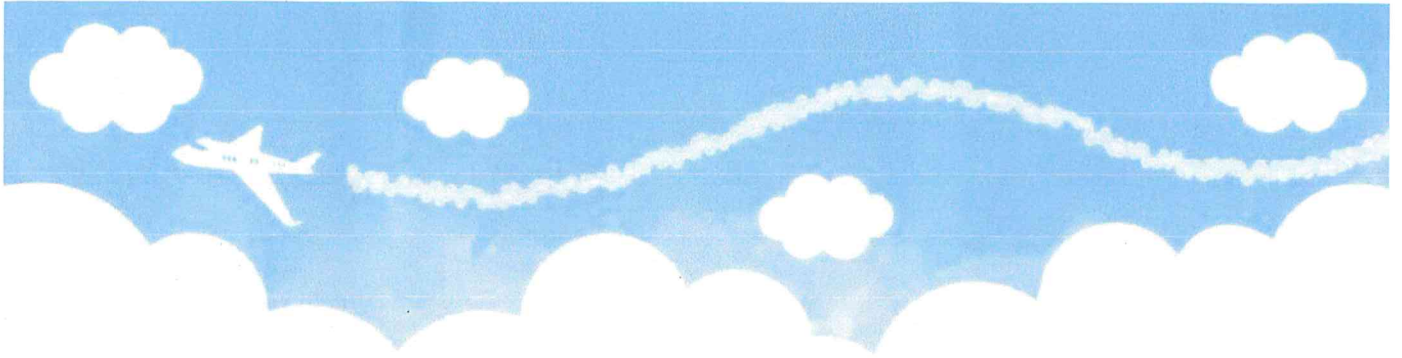
いつもマナーを守って  
お買い物してくれます。

いつも礼儀正しい挨拶を  
してくれます。  
気持ちの良い挨拶に  
元気をもらっています。

保護者と一緒にもマナー  
の悪い子がいます。  
ぜひ保護者の方で注意して  
欲しいです。

一人の子がまとめて  
お金を払っていて、  
ちょっと心配です。





## 課題点

- ・お金の使い方が心配な子どもが増えているようです。大きなお金をもっていたり、一人の子が大勢の友達におごっている様子が市内各地で見られるとの報告がありました。
- ・一緒にいる子どものマナーが悪くても、注意しない保護者がいるようです。店内を走り回ったり、商品を手荒に扱ってしまうなどの行為は、他の人に迷惑がかかる場合もあります。店内の物を壊したり商品の袋を開けてしまったりなど、実害の出ている店舗も他地区ではあったようです。
- ・小学生の万引きが数件、南流山地区でも発生しています。SNSで「ここは万引き出来るよ」などという投稿もあったようです。

## 委員より

今年度もたくさんの店舗の皆さまにご協力いただきました。

皆さん好意的で、迷惑というよりは心配をしてくださっている印象が強かったです。

いつも自分から挨拶をしてお店に入っていくような、お店の方と良い関係でいられる子もいる一方で、お店の迷惑になる子もいます。トラブルが起きる前に、ぜひご注意ください。

私が特に気になったのは「お金の使い方が心配な子」です。

ご家庭によって事情も教育方法も様々ですから一概には言えませんが、子ども同士での「おごり・おごられ」は小学生ではまだ早い気がいたします。

店舗の方からは「いじめじゃないとよいのですが」という心配の声も上がっておりました。

保護者に無断でアプリゲームの課金をしてしまう問題も発生しているようですし、これを機会にお金についてお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか。

また、地域の店舗の皆様とよい関係を築く事で「子どもたちを地域全体で見守る街づくり」ができるのではないかと思います。お店の方を「知らない人」ではなく「自分たちの住む同じ町の方々」という思いで接する事を、まずは私たち保護者から意識し行動してみませんか。

